

優秀賞

ほっぺたの硬さ

愛知県 吉兼菜々子

「やっぱり硬いね〜」

友達は、私の頬をつつきながら言う。

彼女は、楽しそうな顔をして、今日も私の頬をつついていてる。

なぜか、私を見るとつついてくるのだ。

人に頬をつつかれるのは、変な感じがする。だけど私は嫌がらない。

友達の中には、嫌がる人もいるけれど、私は嫌じゃないから。

だけど、少しひっかかる彼女の一言。

「硬い」？

私の頬って、硬いのかな？ 自分で自分の頬をつつく。うーん、分かんないなあ。

友達の頬をつついてみる。本当だ。私の頬と、違う。

そういえば、妹の頬もこんな感じだったっけ。

やっぱり、彼女の言うとおりに、私の頬って硬いのかも。

私の頬の硬さの理由。彼女に言わせると、こうだ。

「だって、いつも笑ってるもの」

笑うと、頬の筋肉をつかうからだそうだ。

「菜々子って、いつも笑ってるし明るい性格だよな」

別の友達と言う。この2つの言葉も、どこかひっかかる。

私、いつも笑ってるのかな？ っていうか、明るい性格なのかな？

確かに、友達といる時は、楽しいから笑う。

でも、いつも笑っている訳じゃない。学校で笑っていることが多くても、私だって泣く時もある。怒る時もある。

だって、人間だから。

でも、みんな、そうなんだ。

明るい人も、泣き虫な人も、私の周りには、たくさんの方がいる。

だけど、それは私が見ている、その人の表情が笑っている時が多いから、「明るい人」と思う。

でも、私が見ていない所では泣いたり、怒ったりしている。

私が見ているのは、その人のほんの一部の表情にすぎない。

私は、その、ほんの一部の表情で、その人の性格を知ったつもりでいるんだ。

私、もう少し、人をちゃんと見よう。

そうしたら、その人の知らなかった一面に、会うことができるかもしれない。

もしかしたら、新しい友達もできるかも。

そうしたら、もっともっと今より、たくさん笑って。

私の頬も、もう少し硬くなるかな？